

中嶋 嶺雄 (東京外語大学教授)

私はかねがね、自分が中国研究を専門にしていること以外に、次の二点からして、川島浪速という人物に強い関心を抱いてきた。

その一つは、私自身、川島と同郷の松本市出身であること、二つは川島浪速が私の勤務する東京外語大の前身、旧東京外語の支那語科に在籍した異才であったことである。もとより、清朝の復讐や満蒙独立運動に生涯をかけた川島浪速は、今日の歴史評価のうえでは否定されるべき人物として語られているけれど、その激しくもユニークな個性にはやはり注目せざるを得ない。

そうした人物であったがゆえに、彼は肅親王(芳子の実父)の心をすつかりとらえ、台湾総督時代の乃木希典にそれほど信頼されたばかりか、友人では旧外語露語科同窓生の長谷川辰之助(二葉亭四迷)や戦前のわが国中国語学界の大先輩で外語同期の宮島大八らに大きな影響を与え得たのであった。

川島浪速は中国語が実に堪能で、一九〇〇年の義和團事件に発端する八か国連合軍の北京進攻(北清事変)に際しては、その中国語を駆使して清軍を紫禁城内から撤退させたことが、ついにドイツ軍の紫禁城攻撃を思いとどまらせ、この全人類的な文化遺産が灰燼に帰すことを防いだのであった。

こうしたエピソードを知る中国人もいまや殆どいないけれど、日中間の近現代史には、なお論すべき問題が数多く残されていると言えよう。今回のミュージカル「李香蘭」を、「現代史の勉強会」「昭和史のおさらば」などと見做す批評も一部に見られたが、そうした批判を十分にはねかえす芸術的説得力こそ、今回の上演の成功のカギであったと思う。

(総合教育技術「小学館」1991年5月号より抜粋)



3月日生劇場公演より

1942	昭和17	ミッドウェー海戦敗北 ガダルカナル島攻防をめぐり南太平洋海戦	食糧の通帳配給制、衣料切符制実施
1944	昭和19	マリアナ沖海戦で日本、空母の大半を失う サイパン島日本軍全滅 神風特別攻撃隊(特攻隊)編成 米爆撃機B29、東京初爆撃	新聞の夕刊廃止 学童の集団疎開実施を発表
1945	昭和20	満州国解体、日本敗戦 漢奸裁判開始	天気予報3年8カ月ぶりに復活 戦後第一作映画「そよかぜ」(松竹)封切、主題歌「りんごの唄」大流行 日本史、修身、地理の授業停止をGHQ(連合国最高司令官総指令部)が指令
1946	昭和21		日本史授業、スミ、ぬり教科書で再開

蜂 矢 英 彦 (前・東京武蔵野病院院長)

往年の歌姫李香蘭のミュージカルと言えば、気楽に楽しめるものと思いきや、重いテーマの展開に驚かされ、私たちが二人それぞれに重い感慨を抱いて帰途に着くことになりました。

私は「さけわだつみの声」と接する世代、家内は女学校一年までを新京で暮らし、満州での李香蘭ブームを体験していたのですから……

夕食の買物もうわのそら、夕食もそこそこに昨晩はあのテーマを語り合うことになってしまいました。

考えてみれば、「ウェストサイド物語」にも「エビータ」にもそして「ジーザス・クライスト」にも重いテーマは含まれている訳ですが、私たちにとっては遠い国、遠い歴史の話。ところが今回のテーマはまさに私たちが生きてきたこの国の、それも歴史などではなくて、今なお私たちが引きずっている生き様にかかわる体験そのものでしたから、その衝撃はすつしりと響きました。

こういうテーマがミュージカルに採りあげられ、ミュージカルに生命を吹きこむこと考えも及ばずにおりましただけに、こうしたこの国の自前のミュージカルが生れ育っていくことを、あらためてお祝いし、嬉しく思う次第です。



中馬清福 (朝日新聞・論説委員)

誠に楽しく、しかし敬肅な思いにさせる作品で感服いたしました。私事ながら1950年代の末に中国文学を大学で専攻、ついで新聞記者になった小生にとって「中国」はいつの時代でも自らを写す「鏡」の役割を果たしています。正直に言って「四季」があとこまて中国での日本人の行動を見据えておられたとは思ってなかったの、意外であり、それだけ喜びもひとしおでした。



3月日生劇場公演より

1941	昭和16	日本軍、ハワイ真珠湾を奇襲攻撃、対米英宣戦布告(12・8)	日劇七回り半事件 男装の麗人(宝塚および松竹少女歌劇における男役の女優に対して使われた)廃止
1940	昭和15	日独伊3国同盟条約調印	全国の市町村に隣組制度が設置
1939	昭和14	ノモンハン事件	日満通電話開通 ニュース映画の強制上映開始
1938	昭和13	日本軍、徐州占領 日本軍、広東占領	レコード会社、次々に軍国歌謡を製作
1937	昭和12	日本軍、南京占領 約締結 露溝橋事件 日中戦争開戦 中共軍(紅軍)を国民政府第8路軍に編成する 中・ソ不 軍に編成する	標語「国民精神総動員」「パーマントはやめましょう」 永井荷風著「澤東論議」ベス トセラーとなる
1936	昭和11	2・26事件(皇道派青年将校約1400の兵力でクーデター)	流行語「いまからでもおそくない」
1935	昭和10	抗日運動が激しさを増す	溥儀来日に伴い、満州国国歌が小学校等で教えられる
1934	昭和9	満州国帝政実施 溥儀、皇帝となる ソ連、東支鉄道を満州国に譲渡	有楽町の日劇開場 ひざ下15センチくらいのロングスカート流行
1933	昭和8	日本軍(関東軍)が熱河侵入 日本、国際連盟脱退	流行歌「暗い日曜日」、自殺や心 中ムードを刺激するとして発売 禁止 有楽町の日劇開場 ひざ下15センチくらいのロング スカート流行